事業所名	ワンステップスマイル橋本教室（単位２）	支援プログラム	作成日	令和7 年	5 月	10 日

法人（事業所）理念		障がいの有無に拘わらず全ての子どもが意見を表明する権利の主体であることを認識し、その機会が確保され年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され子どもの最善の利益が優先考慮されるよう、取組を進めます。その際には、言語化された意見だけではなく、子どもの障がいの特性や発達の程度をよく理解した上でその特性や発達の程度に応じたコミュニケーション手段により、例えば目の動きや顔の向き、声の出し方といった細やかな変化や行動を踏まえ、様々な形で発せられる思いや願いについて丁寧に汲み取って行きます。							
支援方針		子どもの発達全般や障がいの特性等を理解し、子ども自身一人ひとりが内在的に持つ力を発揮出来るよう支援すると共に、家族の支援にあたっても家族自身の内在的に持つ力を発揮出来るよう、エンパワメントを前提とした支援をします。							
営業時間（平日）			9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	（あり）・ なし	
営業時間（学校休日）			9 時	0 分から	18 時	0 分まで			
		支　援　内　容							
本人支援	健康・生活	子どもが食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身辺の清潔等生活に必要な基本的技能を獲得出来るよう、生活場面に於ける環境の工夫を行いながら、子どもの状態に応じて適切な時期に適切な支援をする。生活の中で学びが促進されるよう環境を整える。また障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化する。							
	運動・感覚	感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。							
	認知・行動	感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障がいの予防及び適切行動への対応の支援を行う。							
	言語 コミュニケーション	表情や身振り、各種の機器を用いて相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど、コミュニケーションに必要な基本的な能力が獲得出来るよう支援する。							
	人間関係 社会性	遊びや人の動きの模倣から社会性や対人関係の芽生えを支援する。集団に参加する為の手順や規則を理解し、遊びや集団活動に参加出来る用支援すると共に相互理解や互いの存在を認め合いながら仲間作りに繋がるよう支援する。							
家族支援		支援においては本人の状況や家庭の状況等を踏まえるとともに、保護者の気持ちを受け止め、子ども本人と保護者との相互の信頼関係を基本に保護者の意思を尊重し、寄り添い保護者と児童の持つ強みを引き出す支援が必要。					移行支援	子どもが通う保育所等や通う予定の学校・放課後児童クラブとの情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、児童発達支援計画の作成又は見直しに関する会議を開催する。	
地域支援・地域連携		児童発達支援を利用する子どもが地域の様々な場面で適切な支援を受けられるよう関係機関等と連携する事が重要であることから、普段から地域全体の子育て支援を活性化する為のネットワークを構築しておくと言う視点が必要である。					職員の質の向上	職員が事業所に於ける課題について共有し、主体的に学び合う姿勢が重要である。事業所に於いても職場研修を実施し外部で行われる研修等へ参加し、職員が知識・技術の習得ができるようにする必要がある。	
主な行事等		季節の行事・・・クリスマス会、ハロウィン、海遊び、スポーツ活動（陸上・球技）調理、夏祭りその他、防災避難訓練など。							